

令和4年度高千穂町立岩戸小学校評価書

4段階評価(4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する) No.1

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等	学校関係者評価 コメント
				指標	総合		
【重点目標】 ○ 基礎的・基本的な知識・技能の習得、活用を通じた表現力の育成							
知 づ く り 指 導	学 習 指 導	1 研究授業の計画的実施による授業力の向上	○ 授業力向上に関するアンケートの達成度が80%以上	・ 導入を工夫し、課題意識を高める。 ・ 個人思考の時間を確保し、グループ・全体での話し合いの場を設定する。 ・ 振り返りの時間を定着させる。	4	3	・ 学校支援訪問での指導主事による授業参観とフィードバックや町教育研究会での参観授業と事後研究及び一人一授業等の取組により、各教師の指導力向上が図られた。 ・ 朝の時間を利用した「Web単元」や「見届の日」による既習内容の確認や特別支援教育支援員による個に応じた指導等により学年に応じた学習訓練や基礎的・基本的な学習内容の定着が図られた。 ・ ICTの効果的な活用を主題研究に掲げ、日頃の授業においてもタブレットの活用を意識しながら取り組んできたことで、タブレット以外の手立てのよさも見えてきた。 ・ 家庭学習のめあてやメディア利用時間の設定、参観日での家庭学習ノート展示等により、児童や保護者の家庭学習に対する意識を高めることができた。
		2 児童の基礎的・基本的な知識・技能の習得	○ 基礎的・基本的な知識・技能に関するアンケートの達成度が80%以上	・ 個別指導を充実させたり繰り返しの学習をさせたりする。 ・ 学年に応じた学習訓練を徹底する。	4		
		3 二入一合タブレット端末を活用した授業実践研究	○ タブレット端末を活用した授業実践が80%以上	・ 授業において、タブレットを活用した実践を図る。	3		
		4 家庭との連携による家庭学習の定着と内容の充実	○ 家庭学習に関するアンケートの達成度が80%以上	・ 「家庭学習がんばり週間」での取組の充実を図る。 ・ 参観日における学習ノートの展示による意欲の向上を図る。	3		
	図書館教育	5 読書をする機会の計画的な実施と充実	○ 読書に関するアンケートの達成度が80%以上	・ 読み聞かせ等の読書に関するイベントを計画し、児童の読書意欲を高める。 ・ 各学年の児童のニーズに合った蔵書の充実を図る。 ・ 毎週水曜日を「読書の日」として継続する。	3		
【重点目標】 ○ 基本的な生活習慣の確立と思いやりの心や正しい判断力を育てる指導の充実							
生 活 づ く り ・ 心 づ く り	基 本 的 な 生 活 習 慣	1 継続的・重点的なあいさつ指導の徹底	○ あいさつに関するアンケートの達成度が80%以上	・ 「あいさつ運動」の実施と「あいさつ週間」の設定により、あいさつの輪を広げていく。 ・ 保護者と連携したあいさつ運動や立番指導を実施する。	4	4	・ あいさつをすることのよさやあいさつの仕方等を指導したり、あいさつ週間等で意識させたりしたことや、各学期始まり三日間のPTAと連携した立ち番指導により、あいさつの和が広がっている。 ・ 月1回の「心のアンケート」を活用した教育相談や「まごころ委員会」を通して、全職員で児童理解を図り、児童への指導に生かすことができた。 ・ 宮崎大学教育学部と連携したポジティブ行動支援の実践により、児童を称賛する機会が増え、職員の意識も高まった。 ・ 道徳や学級活動での指導はもとより、普段の授業から思いやりの心で話したり聞いたりすることの大切さを指導することで、友だちを思いやる心が育ってきている。 ・ 清掃や委員会での取組を認めたり、教師と一緒に掃除をしたりすることで、最後まで責任をもって取り組もうとする態度が育っている。
		生徒指導	2 定期的な教育相談による児童理解の充実	○ 児童理解に関するアンケートの達成度が80%以上	・ 定期的に教育相談週間を設け担任が個別の教育相談を行う。 ・ 「まごころ委員会」を定期的に実施し共通理解を図る。 ・ 称賛する場(教師から児童、児童同士)をより多く設ける。 ・ キャリア教育の充実を図る。		
	思 い や り の 心 ・ 責 任 感	3 友だちづくりによる思いやりの心の育成	○ 友だちに関するアンケートの達成度が80%以上	・ 特別の教科道徳や学級活動の時間等を中心に思いやりの心を育てる。	4		
		4 最後まで責任をもって取り組もうとする態度の育成	○ 責任に関するアンケートの達成度が80%以上	・ 無言でてきばきとした清掃活動に取り組ませる。 ・ 係や委員会等の毎日の活動に責任をもたせ取り組ませる。 ・ 通信等で児童の取組を発信する。	4		

令和4年度高千穂町立岩戸小学校評価書

4段階評価(4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する) No.2

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等	学校関係者評価 コメント	
				指標	総合			
【重点目標】 ○ 粘り強さを育てる指導や健康・生活安全指導の充実								
体づくり	体力づくり	1 体力向上プランの適切な実践と粘り強さを身に付けながらの体力向上	○ 運動に親しむことに関するアンケートの達成度が80%以上	・ 体育の時間における体づくり運動を推進する。 ・ 朝の体力アップや昼休み時間の外遊びの奨励で運動能力を高めていく。	4	4	・ 体力テストの結果をもとに、体力向上プランを作成し、体力向上へ向けて意識的に指導することができた。 ・ 持久走大会ではそれぞれが自分の記録に挑戦する姿が見られ、保護者の方へ感動を与えることができた。	・ 岩戸地区は3世代の家庭も多い。コロナが落ち着けば、保護者だけでなく祖父母や地域の者が行きやすい学校の活動や行事を計画して欲しい。 ・ 参観日や環境整備作業など、岩戸小は父親の参加が多い。また、両親そろって参加するところも多く、学校教育活動に対する関心が高い。
	安全指導	2 安全な教育環境づくりと児童の生活安全意識の高揚	○ 毎月1回の安全点検の実施と年4回の避難訓練の実施	・ 職員による安全点検を毎月実施する。 ・ 風水害、不審者対応、地震、火災の避難訓練を実施する。	4		・ 月1回の安全点検を実施し、早めに修理 ・ 修繕を行うことで安全な教育環境づくりに努めることができた。 ・ どの訓練も真剣な態度で実施することができた。	
	健康教育	3 健康三原則(栄養・休養・運動)の指導の充実とむし歯治療率の向上	○ 健康三原則に関するアンケートの達成度が80%以上 ○ むし歯の治療率達成度が75%以上	・ 毎月実施する「元気もりもりタイム」を充実させる。 ・ 高千穂町「メディア利用のルール」の家庭への啓発を図る。 ・ 学校保健委員会の在り方を見直し工夫する。 ・ むし歯治療について個別指導を行う。	3		・ 「元気もりもりタイム」の時間に健康三原則に関する項目について年間を通じて指導を行うことができた。 ・ 高千穂町「メディア利用のルール」の指導と家庭への文書配付や動画撮影を行ったが、今後も周知徹底のために啓発活動を図る必要がある。	
【重点目標】 ○ 家庭や地域社会との連携強化								
地域の中の学校づくり	人材活用	1 地域人材の情報収集と活用	○ 地域学習に関するアンケートの達成度が85%以上	・ 地域人材の情報収集と地域調べの学習における地域人材活用を図る。 ・ 人材活用一覧を作成する。	3	4	・ 参観日に地域人材を活用した「ふれあい学習」を実施し、生活科や社会科、総合的な学習の時間に地域を訪ねたり、外部講師を招いたりすることで、多くの学びを得ることができた。	・ 地域人材だけでなく、岩戸地区には用水路や棚田等といったいろんな教材があるので、今後も地域資源を生かした教育活動が考えられる。 ・ 地域の神楽を練習する子どもたちが増えている。発表の場を設けてあげたい。
	情報発信	2 学校参観や各種便り、ホームページによる情報発信	○ 授業参観・懇談参加率が85%以上 ○ 各種便りの定期的発行とホームページの更新	・ 日程や懇談の内容を工夫し、参観しやすい雰囲気作りを行う。 ・ 各種便りの定期的な発行とホームページの更新に努める。	4		・ 参観・懇談率が95%と高く、本校の教育活動に対する関心の高さが窺える。 ・ 学校便りや保健便り、特別支援便り等の定期的な発行とホームページの更新等で情報発信することができた。	
	地域交流	3 地域社会との積極的な交流	○ 地域行事等への参加に関するアンケートの達成度が80%以上	・ 保育園や幼稚園との連携事業を計画的に実施する。 ・ 地域の各種行事等に積極的に参加し、地域に交わる。	3		・ 天岩戸保育園訪問を実施し、1年生と保育園児との交流を行うことができた。 ・ 地域の高齢者にお便りを出したり、天岩戸神社や天岩戸橋側道橋工事等の行事に参加したりできた。	

【次年度の方向性についての校長所見】

学習の基礎となる力を定着させ、これから生きる力を身に付けさせるために、家庭・地域との協働による学校作りを進めるという学校経営ビジョンのもと、保護者や地域の方々の協力を得ながら、四つの重点目標(知づくり、生活づくり・心づくり、体づくり、地域の中の学校づくり)の達成を目指し、本校の教育の推進と全職員の学校経営への積極的な参画を図ってきた。本年度は、コロナ感染の落ち着きと感染症対策、保護者や地域の方々のご理解・ご協力のもと、ほとんどの活動をコロナ禍前の活動に近い形で実施することができた。

来年度もコロナ禍は続くであろうが、保護者や地域の方々の協力を得ながら、本校の教育目標「自ら考え、正しく判断し、豊かな人間性をもち、たくましく生きる児童の育成」の具現化を目指し、教員の資質向上を図りつつ、地域との協働による教育活動に取り組み、健全な岩戸っ子を育む教育を推進したい。